

べっが 市議会だより

No.39 平成11年5月1日

編集 市議会だより編集委員会

発行 別府市議会

住所 874-8511

別府市上野口町1-15

☎0977-21-1111



平成11年度新年度予算など可決

3月定例会は、3月3日から19日までの17日間の日程で開かれました。

平成11年度各会計予算（一般会計・10特別会計・水道事業会計）をはじめ、別府市情報公開条例の制定についてや、平成10年度一般会計補正予算など市長提出議案38件の審議が行われ、採決の結果、すべて原案のとおり可決、同意されました。

また、議員から意見書3件が提出され、すべて原案のとおり可決されました。

主な内容

主な議決……P2～3

議案質疑……P4

一般質問……P5～7

その他……P8

主な議決

三月定例会では、予算や条例案件など三十六件が上程され、市長の提案説明に対する質疑の後、所管の常任・特別委員会へ付託されました。

これらの議案は、最終日に、所管の委員長より審査の経過と結果について報告がなされ、すべて原案のとおり可決されました。続いて、市長から別府市固定資産評価審査委員会委員の選任についての人事案件が追加提案され、原案のとおり同意されました。

議決された主な内容は、次のとおりです。

新年度予算

◎平成十一年度別府市一般会計予算

(原案可決)

主な内容として、「総務関係」では、本年十月一日から別府市情報公開条例が施行されることに伴い、関連予算を計上いたしております。また、「観光・商工関係」では、観光行政懇談会や民間とタイアップしたキャンペーンなど各種の宣伝事業を積極的に展開するとともに、BEP PUDリームバルなど各種のイベントの一層の充実を図るための予算を計上いたしております。また、景気停滞により厳しい経営環境にある中小企業者を支援するため、中小企業金融対策預託金を増額し、新規融資枠の確保と中小企業経営合理化資金融資に係る信用保証料を全額別府市が負担するための予算を、さらに、地域振興券の交付に伴い、消費拡大につながる活性化を図るための予算を計上いたしております。次に、「教育関係」では、二十一世紀を担う子供たちが安心して学べる環境整備の促進を図るため、引き続き各小中学校校舎の大規模改造の経費等に支出しようとするものです。また、

三月定例会 会期の経過

一日	議会運営委員会
三日	本会議
	(議案上程、提案理由の説明)
五日	本会議
	(議案質疑・委員会付託)
九日	本会議(一般質問)
十日	本会議(一般質問)
	議会運営委員会
十一日	本会議(一般質問)
	議会報編集委員会
十二日	各常任委員会
十六日	各特別委員会
十九日	議会運営委員会
	本会議(上程中の全議案に対する委員長報告、討論、表決)

「福祉・環境関係」については、介護保険制度の円滑な導入に向けて、組織・基盤体制の確立と事業計画の策定などの関連予算の計上や、本年六月からの本格実施に向けての缶・瓶・ペットボトルの分別収集事業などに支出しようとするものです。

◎平成十一年度国民健康保険事業ほか九特別会計予算及び平成十一年度水道事業会計予算 (原案可決)

補正予算

◎平成十年度各会計(一般会計へ第七号)、国民健康保険事業ほか五特別会計、水道事業会計)補正予算

(原案可決)

今回の主な補正内容は、介護保険システム等の開発経費や、別府駅エスカレーター整備事業等における緊急経済対策に伴う経費の計上、また、今回が最終予算のため、各会計とも決算見込額によって、歳入・歳出予算の計数整理を行ったものです。



3月定例議会風景

条 例

◎別府市情報公開条例の制定について
(原案可決)

公文書の公開請求権を定めることにより、市政の公開性の向上と市民の市政への一層の参加を図り、公正で民主的な市政の推進に資するため条例を制定しようとするものです。

◎別府市ふるさと水と土保全基金条例の制定について (原案可決)
農業振興地域の振興を図るため、別府市ふるさと水と土保全基金を設置しようとするものです。

条 例 の 一 部 改 正

◎別府市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

(原案可決)
育児又は介護を行う職員に係る、深夜勤務及び時間外勤務の制限に伴い、条例の整備をしようとするものです。

◎特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について (原案可決)

市立別府商業高等学校の非常勤講師に係る報酬改定等に伴い、条例を整備しようとするものです。

◎別府市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について (原案可決)

隔離病舎の業務に従事する職員の特殊勤務手当の廃止等に伴い、条例を整備しようとするものです。

◎別府市公民館条例の一部改正について (原案可決)

別府市東山地区公民館の位置を改めようとするものです。

◎別府市営体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について (原案可決)

実相寺中央公園に屋内相撲場を設置するとともに、公園テニスコートの夜間照明設備使用料の額を改定する

人 事

次の人が、固定資産評価審査委員に、全会一致で同意されました。

○佐藤 大典氏 (再任)
市内実相寺2組2

○高松 右門氏 (再任)
市内中須賀本町12組

意 見 書

議員より意見書3件が提出されましたが、次のとおりすべて原案可決され、直ちに関係機関へ送付されました。

- 法務局等の増員に関する意見書
- 地方税源の充実に関する意見書
- 国立病院・療養所の機能拡充を求める意見書

そ の 他

◎旧慣による公有財産についての権利を廃止することについて (原案可決)

大分県施工による県道別府山香線道路改良工事及び別府市施工による市道関の江平道線道路改良工事に伴い、旧慣使用権を廃止しようとするものです。

◎旧慣による公有財産についての権利を廃止することについて (原案可決)

大分県施工による明礬地区地滑り対策工事に伴い、旧慣使用権を廃止しようとするものです。

◎議決事項の変更について (原案可決)

◎土地の貸付けについて (原案可決)

株式会社別府扇山ゴルフ場に土地を貸し付けようとするものです。

◎別府市営亀陽泉会館の長期かつ独占的な利用について (原案可決)

◎市道路線の認定及び廃止について (原案可決)



案 疑

議 質

情報公開条例について

議案質疑は、執行部が提出した予算や条例などの議案に対し質疑を行います。

三月五日に七名の議員が行いましたが、そのうち、主な質疑内容を掲載します。

中小企業金融等 対策について

問 昨今の景気低迷の中で、県下の中小企業の倒産が激増し、非常に憂慮すべき状態になっています。そういった中で別府市も国の景気刺激対策の中、中小企業金融安定化特別保証制度の融資制度があるのに、市内中小零細企業の皆さん方が、やっと思いで市長証明をもらって大丈夫と思いい申請しても信用保証協会より却下される現状に、不満の声が多くの人から上がっている。何が原因で却下されるのか信用保証協会に強く提言して欲しい。

答 信用保証協会に、市長をはじめ、商工会議所会頭さんも融資条件の緩和についてお願いをしており、市も金融懇談会等を開催する中で、銀行や保証協会に対し強い要望をしている。

問 別府市の無担保・無保証人の制度融資は、長年限度額が八十万円のままであり、融資限度額の拡大を強く要望したい。

答 確かに限度額が低い状況ですが、保証協会に再度要望し、引き上げに向けて検討していきたい。

議員定数削減の 陳情書について

別府市議会は、別府市自治会長会より本年二月九日付、再び提出された標題の件について、別府市議会議長より、自治会長会の代表者へ次のとおり回答いたしましたので、その内容について掲載いたします。

議員定数削減の陳情書については五万二千七百四名の方々の署名を真摯に受け止め、各会派代表者を通じ議員各位に再度諮ったところでございます。

その結果、昨年十二月十七日に「議員定数問題検討委員会」からの答申を尊重するとの報告が各会派よりありました。

従いまして、今後は検討委員会の答申内容にあります議会費の節減並びに次期改選後において、法に基づき特別委員会を設置し、議員の定数削減に向け検討を図る。

(要旨のみ抜粋)

問 別府市の情報公開条例について、前文に「知る権利」の明文化をしているし、請求権者を「何人」でも開示請求できるとなっている。また、この情報公開制度に伴い、点字翻訳システムの予算も計上しており、障害者も情報公開により社会参加を促進した形がうかがわれて、本当に高く評価したい。ただ、せっかく立派な情報公開条例ができたのに、外郭団体の情報公開規定が加わっていないことに惜しい気がする。

答 第三セクターいわゆる外郭団体の情報公開については、今までもずいぶん検討してきました。また別府市情報公開懇話会でもご提言をいただき検討する中で、議会への報告義務等チェック機能があること、さらに、別の法人格を有する外郭団体への情報公開を義務づけることは民法、商法あるいは、公有地拡大の推進に関する法律等々をかぶっているわけです。また、外郭団体の設立根拠となる法律が付与した権利義務の範囲を越えて条例を制定することになることと、外郭団体が実施機関となった場合、非公開決定等の不利益の処分性の問題など、条例に直接適用することはむずかしい状況にあるが、国の動向等も勘案しながら、今後の検討課題としたい。

問 手数料はどうなっているのか。

答 閲覧は無料だが、写しの交付については、ちなみに大分県が三十円、大分市が二十円、中津市が十五円ですが、別府市は十円を予定しています。



一般質問

一質

堀本 博行 加藤 久美子
田中 祐二 高橋 美智子
後藤 健介 山本 一成
井田 逸朗 富田 公人
清成 宣明 中村 正三
河野 数則 岩男 三男
原 克実 加藤 義則
白石 昇 伊藤 敏幸
朝倉 斉 村田 政弘
(議席順)

市営温泉の洗髪料 廃止が決定

問 市営温泉七カ所で女性から徴収している洗髪料は、これまでも議会で問題になったが、未だ廃止になっていない。別府市の条例では洗髪料一回四十円と定めているが、「女性から」とはどこにも書いていない。平成五年十一月の大分県告示で廃止すべきで女性に対する差別だ。即座

一般質問は、市の行政全般にわたる事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。三月九日から十一日までの三日間、十八名の議員が市当局の見解をいただきました。

主な内容は次のとおりです。

に廃止し、これまで洗髪料を払った女性に対し謝罪すべきではないか。
答 女性の利用者だけから洗髪料を徴収という問題については、三月十一日で廃止を決定、遺憾の意を表明しました。

竹瓦温泉の 施設整備について

問 竹瓦温泉が非常に脚光を浴びている。平成九年度の利用者は九万四千六百六十九人。この内、砂湯の利用者は四万一千四百四十七人で、五年度に比べ約一万三千人も増えている。土、日、祝日は順番待ちのお客があふれている。公民館として使用している二階への上がり口は鉄格子のシャッターが下り、カーテンもボロボロ。まるで幽霊屋敷だ。手を加え、入浴客の利用にも供したらどうか。
答 竹瓦温泉はもとより、老朽化し

ている市営温泉は年次計画を立て、リニューアルしたい。



竹瓦をはじめ施設整備が待たれる市営温泉

別府市の温泉資源の 将来施策は

問 別府市における温泉資源の現状と長期展望に立った同資源の具体的な保護施策を明らかにせよ。

答 別府市には八カ所(別府八湯)の温泉地があり、泉源数は二千八百四十九カ所。湧出量は一分間に九万四千九百三十八リットル。温泉の汲みすぎから水位と温度が下がり、そのため更に深く掘削しようとするのが現状。将来施策は温泉源保護の指導要綱等を作成、温泉源の雨水対策

として、浸透性の道路舗装や側溝に改良、ビルや家屋の雨水は浸透升等を設置し、側溝流出を防ぐ。

温泉の現状と 将来計画について

問 温泉は心が和み、病氣も直せるし、色んな効果もあり、市民も恩恵を受けている。温泉会計が一般会計から特別会計に移行したことが大きな問題を提起している。一般会計から補填すること自体が一般会計と特別会計の間柄を逸脱し、赤字が暗いニュースとして報道される。発想の転換を図り、一般会計に戻すべきだ。

答 収支を明確にし、将来は独立採算にするため昭和六十一年度から特別会計にした経緯がある。元に戻して運営できることが理想的。一般会計でやれるか検討したい。

湯都ピア浜脇に ついて

問 先日、約二十名程のお母さんたちと会合し、その席で湯都ピア浜脇を利用したことがあるかと聞いたところ、私以外だれも入ったことがない。湯都ピア自体、市民からかけ離れた存在になっている。テルマスも批判の声ばかりでいい話はない。せっかく建設しても批判的。湯都ピア

とテルマスは二十一世紀の無用の長物になりかねない。月に一回でも二回でもワンコインデイ(百円)で入れる日を設けたらどうか。

答 内部で十分検討して参りたい。

井上市政四年を振り返り

問 一期四年間、市長については、いろいろ批判も耳にするが、それなりに汗も流し、融和、調和、連帯をモットーに別府市のため頑張ってきた。人間、100%完成した人間はいない。ある機関紙を見るとあれもこれも悪いと書いてある。別府の町をどう変えていくかが、私ども議員の職務であり、私も一生懸命頑張る、市長を支援していきたい。

答 過分なお褒めの言葉をいただきたいが、私も欠点だらけの人間。過去を反省し、明日へ向かって頑張らせていただく。最後までご支援を賜りたい。

水道料金福祉減免について

問 福祉施策の一環として、水道料金の一部還付を身体障害者の一、二級手帳の重度障害者にすることは評価できるが、同じ身体障害者一、二級手帳を持つ知的障害と精神障害者

を外すという差をつけることや、老夫婦も含まれないこと等、不公平な減免還付になるのではないか。

答 知的障害者、老夫婦、高齢者の親子など、まだ不十分と思うが、他都市を研究して一応これに決定したい。少し推移を見守っていただき、今後検討させていただきたい。

水道料金福祉減免及び市長の政治姿勢

問 今回の水道料金福祉減免制度は一部の対象者に限られ、要介護の高齢者夫婦、知的精神的障害者の方々等は対象外で不公平だ。六億三千万円の利益が出ている水道料金は市民に等しく値下げすべきである。

答 大型水道施設改良事業は十二年度で終る。その時点で検討したい。

問 昨年のドリームバル及びOABテレビ開局記念番組制作等公的事業に市長の家族を巻き込むのは公私混同と市民に映る。

答 別府市をよくしたいと思う親子の情である。

市営住宅の建て替え計画について

問 現存する市営住宅は非常に古い住宅が数多く見られる。しかも入居希望者が非常に少ない。なぜかと言



市営住宅のイメージを一新した真光寺住宅

うと老朽化が進んでいることと、部屋のニーズが今の若い世代の人と合わないからだ。建て替え計画案はどうなっているのか。

答 平成八年三月に建設省の承認を得、別府市営住宅総合再生計画を策定した。これに基づき耐用年数の来た住宅、団地十三、約七百七十戸について古いものから順次立て替える計画である。

市営住宅の即決和解導入について

問 市営住宅家賃の長期滞納者には住宅の明け渡し訴訟や分納約束の取り付けなどを行っているが、分納約

束は強制力はなく、継続して約束を守らず、長期滞納となっている。即決和解は民事紛争者の両者間での合意により和解し、確定判決と同一の効力を有し、和解内容を守らない場合は直ちに強制執行ができる制度であり、導入してはどうか。

答 滞納解消に大変有効な方法だと認識しているので、導入を検討していきたい。

入札について

問 入札については議案質疑でも申し上げたが、別府市の業者の方にいかにたくさん発注できるか、また発注されたものを市内の下請けにどれだけ回せるかに期待するわけだが、方法はあるのか、研究の余地があるのではないか。

答 過去の経過を見ると、市内業者を優先的に発注している。但し、特殊性、金額的、品質等によって市外や県外業者に発注することもある。下請けの報告については、契約検査課の方で特別に調査をするようお願いしている。

別府港港湾計画について

問 観光港の第四埠頭の建設により

潮流の変化などによる上人ヶ浜海岸の自然形態等への影響はないのか。また米軍の艦船が着岸する可能性があるが、どう対応するのか。

答 過去二年間にわたり、潮流変化やその他の環境調査を実施した。その結果、海岸線への影響を含め、その他の自然形態への影響はほとんどないと言える。入港における港湾管理者は県だが、市として市民の安全を図るのは当然だ。県に対しても、言うべきことは言うていく。

地域振興券交付に伴う諸問題について

問 地域振興券交付に伴い市商店街連合会が企画している振興券セール事業をめぐる、一部が脱退するなど問題が起きているが、事態を把握しているのか。どう対応するのか。

答 地域振興券事業の一環として、地元の商店街が活性化につながる販売促進事業を実施する場合の補助金を当初予算に計上しており、商店街連合会もまとまっていると思っている。各商店街にもそれぞれ事情があるようだ。商工会議所と連携を取りながら解決策を講じていきたい。

中央公民館にエレベーターを



障害者の方にも利用しやすい中央公民館に

問 JR別府駅のエスカレーター設置が実現の運びとなったが、この件については我々も市民要求として毎年要望してきたところだ。市の中央公民館も二階の大ホールに行く障害者の方々が大変不便をしているため、エレベーターを設置し、二階にも障害者用トイレを作るとともに障害者専用の駐車場も三、四台確保してもらいたい。

答 中央公民館は生涯学習の中心的施設であるので、関係課と協議し、実現に向けて努力したい。

小学校統廃合計画の実施時期は

問 少子化対策に関わる検討委員会

の結論はいつか。実施計画等はいつになるのか。校区再編成も視野に入れ、地域一体化のモデルとなる学校にすべきと思う。

答 本年三月末に検討委員会の結論が出る。既に少子化に関する児童数等の調査もできており、学校統廃合の実施計画を今秋頃までにまとめた。これに伴う校区編成についても協議の対象になると考える。計画を地元で説明した後、地域と密着したモデル校となるよう努力したい。

スポーツ・文化観光誘致体制を

問 十一年度での各種スポーツ大会や合宿等申込状況について。

答 現在、県や九州、全国大会は三十一件、合宿は三件ある。温泉、宿泊施設、自然景観等で大会や合宿の希望があるので大いに進めたい。

問 生涯学習時代となり、スポーツや文化部門の積極的な観光誘致には他市のようにスポーツ振興課を設置し、給食等は学校教育課に移管する等機構改革が必要である。指宿市は平成三年から合宿スポーツ奨励品の目録贈呈もしており、緊急課題だ。

官公庁連絡協議会の現状について

問 別府市官公庁連絡協議会の現状についてはどうなっているのか。

答 官公庁連絡協議会は、市内の官公庁が一同に集まり、主要事業・連絡事項について協議と意見交換を行っている、情報収集に努めているところであるが、今後も連絡を密にし、情報収集に努めていきたい。

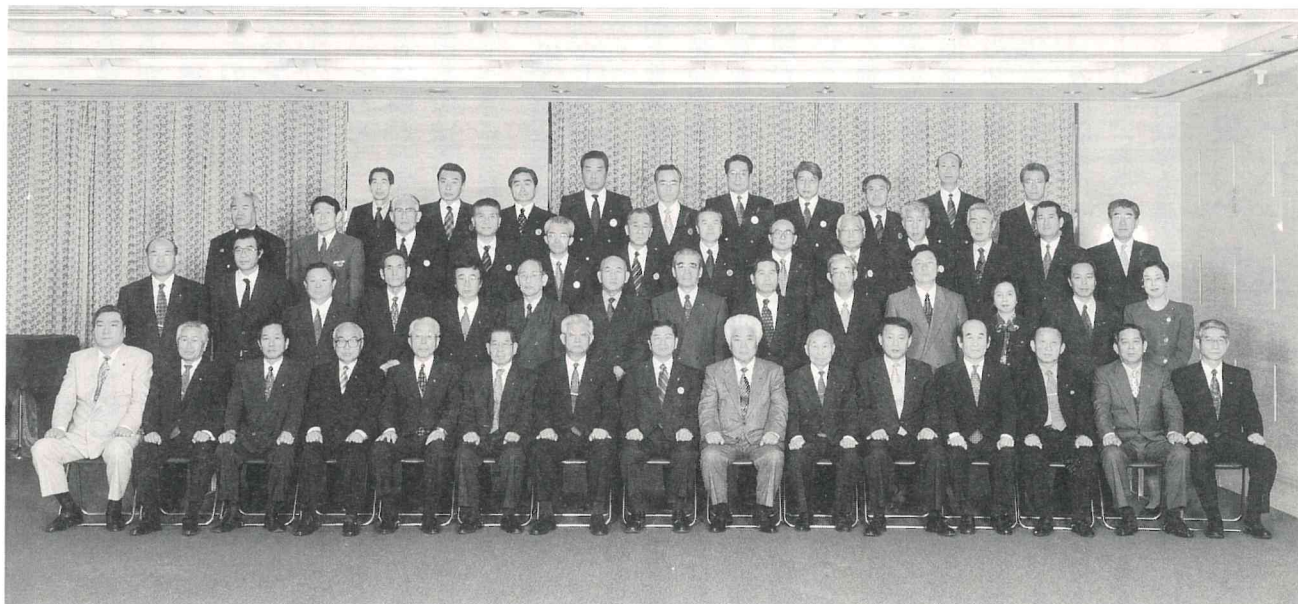
問 現在朝日小学校と幼稚園は、余裕教室が見受けられるが、これを児童館等として有効活用できないか。

答 現状では学校の管理上の問題等があるため、学校現場とも十分協議し、幼稚園を含め、その活用について検討していく。

市職員の中・長期的人事管理は

問 市職員の給与、退職金の市財政に占める割合は大きい。行財政改革の主要な柱として職員数の適正管理は不可欠であるが、職員の職務遂行能力の向上こそ最善の行政改革ではないか。

答 市の職員の構成は団塊の世代の職員比率が高く、定年延長も予測される。組織の若返りと効率的で活力ある組織を作るため、職員数適正管理の下、採用、配置、昇進、研修等を包含した「人材育成計画」を早期に策定し、人事管理を推進したい。



任期満了による市長・市議会議員と執行部

「4年間市民の代表として活躍された」 市議会議員の任期満了

このたびの議員の改選をもって4年間の任期が終了いたしました。
任期在任中は市民の皆様方のご指導、ご支援に対し心より感謝申し上げます。
市議会議員一同

平成10年議会活動状況（平成10年1月～12月）

(1) 本会議及び議決件数

区 分		会期日数	傍聴者数	議 決 件 数		
				市長提出議案	議員提出議案	合 計
定 例 会	第 1 回（3月）	19日	42人	35件	4 件	39件
	第 2 回（6月）	15日	70人	24件	3 件	27件
	第 3 回（9月）	17日	81人	18件	2 件	20件
	第 4 回（12月）	13日	96人	19件	6 件	25件
臨 時 会		1 日	12人	1 件	－件	1 件
合 計		65日	301人	97件	15件	112件

(2) 常任委員会

区 分	開催日数	付託件数	調査会日数
総務文教	4日	42件	1日
観光経済	4日	11件	2日
厚 生	4日	20件	2日
建設水道	4日	22件	—
合 計	16日	95件	5日

(3) 特別委員会等

区 分	開催日数	付託件数	調査会日数
観光振興及び企業・大学誘致対策	1日	3件	1日
交通体系及び海岸整備対策	2日	6件	—
南部振興及び再開発対策	4日	4件	2日
決 算	2日	1件	—
議 会 運 営 委 員 会	13日	—	—
各 会 派 代 表 者 会 議	5日	—	—
議会だより編集委員会	9日	—	—

皆さんの声をお待ちしております
編集委員会では「市民の声」をお待ちしております。
市議会や市に対するご意見やご要望をお寄せ下さい。

送り先 ☎ 874-8511
別府市上野口町一十五
別府市議会編集委員会
☎ 二二二二二二
(内線) 二二六三